

## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です  
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	q2w Nivo+Ipi (悪性胸膜中皮腫)
診療科名	呼吸器内科
診療科責任者名	大槻 歩
適応がん種	切除不能な進行・再発の悪性胸膜中皮腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	PM-005
登録日・更新日	2022年4月26日
削除日	
出典	Lancet 2021; 397: 375-86 オプジーホ®点滴静注添付文書 ヤーホイ®点滴静注添付文書
入力者	湯山 仁美

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ニボルマブ(遺伝子組換え) (オプジーホ点滴静注)	120mg、240mg	240mg/body	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	30分以上	Day1、15、29
	生理食塩液	100mL				
No.2	イピリムマブ(遺伝子組換え) (ヤーホイ点滴静注)	50mg	1mg/kg	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他( )	30分	Day1
	生理食塩液	50mL				

1コースの期間	42日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日)・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	【初回治療開始基準】 WBC>2000/mm <sup>3</sup> かつANC>1500/mm <sup>3</sup> Hb>9.0g/dL Plt>10万/mm <sup>3</sup> T-Bil<2.0mg/dL AST<100IU/L ALT<100IU/L 血清Cr≤1.5mg/dL またはクレアチニンクリアランス≥45mL/min
前投薬	なし
その他の注意事項	<p>・手術の補助療法における有効性及び安全性は確立していない。 参考:臨床試験では化学療法未治療の切除不能な悪性胸膜中皮腫患者を対象としていた。</p> <p>【ニボルマブ】 ・希釈後の最終濃度0.35mg/mL未満では、本剤の点滴溶液中の安定性が確認されていない。</p> <p>【イピリムマブ】 ・そのまま、もしくは生理食塩液又は5%ブドウ糖注射液を用いて1~4mg/mLの濃度に希釈し、投与すること。</p> <p>【ニボルマブ、イピリムマブ 共通】 ・インラインフィルター(0.2又は0.22μm)を使用する。</p> <p>【免疫チェックポイント阻害薬有害事象対応マニュアル】を参照</p>

記入者	湯山 仁美
確認者	大槻 歩